

変更届チェックリスト

事務所名	
担当者名	
連絡先 (tel/fax/e-mail など)	

\*正副 2 部提出 《副本は印も含め白黒コピーで可》

\*変更事項が複数ある場合は①変更届出書(様式3)は1枚のみで可

■管理建築士	
①変更届出書(様式3)	法人名称、代表者氏名役名の記入及び代表者印の押印
	登記された法人名の表記
②略歴書(様式1 添付書類(ロ))	押印(管理建築士の個人印)
	※自署の場合においては、押印を省略することができる。
	※代表者分は不要
③建築士免許証の写し	管理建築士分
④管理建築士講習修了証の写し	管理建築士講習(第 24 条の 2 に定める講習)修了証の添付
⑤所属建築士の氏名等(別紙2)	管理建築士を含む所属建築士全員
	新たに所属建築士となった者
	退職した者及び所属建築士から外す者
⑥返信用封筒(副本返送用)	宛先記入、切手貼付

# 建築士事務所登録事項変更届出書

正	副
---	---

平成 年 月 日

長野県知事指定事務所登録機関

一般社団法人長野県建築士事務所協会会長 殿

開設者氏名

印

(法人の場合 法人の名称及び代表者の氏名・代表者印)

下記のとおり変更しましたので届け出ます。

## 記

変更事項		
建築士事務所	ふりがな	
	所在地	〒 電話番号( )
開設者	個人	ふりがな 住所
	法人	ふりがな 事務所所在地 役員及び役名
管理建築士の氏名及び登録番号		一級 二級 建築士登録 ( ) 第 号 木造
管理建築士講習を修了した年月日及び修了証番号		平成 年 月 日 第 号
所属建築士の氏名等		別紙2のとおり
現登録年月日及び登録番号		平成 年 月 日 長野県知事登録 ( ) 第 号
※変更受付年月日及び番号		平成 年 月 日 長事協変 第 号

- (注) 1 開設者が個人であるときは、開設者氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。  
 2 変更事項欄は、建築士事務所の名称、建築士事務所の所在地等と記入してください。  
 3 変更事項欄以外の欄は、変更後の新事項について記入してください。  
 4 副本は、正本の写しでも可。  
 5 ※欄は、記入しないでください。

### (添付書類)

- 1 法人代表者の変更の場合 ⇒ ・略歴書及び誓約書
- 2 法人の登録事項変更の場合 ⇒ ・法人の登記事項証明書(履歴事項全部証明書)
- 3 管理建築士変更の場合 ⇒ ・略歴書及び管理建築士の建築士免許証の写し、又は建築士免許証明書の写し  
 ・管理建築士講習修了証の写し

## 略 歴 書 〔 登録申請者 管理建築士 〕

〔記入注意〕

1. 氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
2. 職歴の欄は、最近のものから順次記入してください。
3. 勤務先の欄は、自家営業の場合には自営と記入してください。

ふりがな 氏名	印	生年月日	年 月 日
建 築 士 の 資 格	一級建築士 <input type="checkbox"/> 木造建築士 <input type="checkbox"/> 二級建築士 <input type="checkbox"/> な し <input type="checkbox"/>	登録を受けた 都道府県名  (二級建築士または 木造建築士の場合)	
	登録 番号		
学 歴	年 月 日	学校名及び学科名	卒業・修了・中退の別
職 歴	期 間	勤 務 先	地 位 ・ 職 名
	年 月 ～ 年 月		

(別紙2)

所属建築士の氏名等

新たに所属した建築士	氏名	一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別	登録番号	登録を受けた都道府県名（二級建築士又は木造建築士の場合）	構造設計一級建築士又は設備設計一級建築士である場合にあっては、その旨	構造設計一級建築士証又は設備設計一級建築士証の交付番号	所属した年月日	
変更前の所属建築士	氏名	一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別	登録番号	登録を受けた都道府県名（二級建築士又は木造建築士の場合）	構造設計一級建築士又は設備設計一級建築士である場合にあっては、その旨	構造設計一級建築士証又は設備設計一級建築士証の交付番号	所属しなくなった年月日	
変更前				変更後				
	一級建築士	名		一級建築士	名			
	二級建築士	名		二級建築士	名			
計	名	木造建築士	名	計	名	木造建築士	名	
	構造設計一級建築士	名		構造設計一級建築士	名			
	設備設計一級建築士	名		設備設計一級建築士	名			

(注) 変更前の所属建築士欄は、変更前の全ての建築士について記入してください。